



▲初の金鶯旗制覇を果たした富士学苑高校。全国高校選手権大会に続く二冠を達成。インターハイ制覇で『高校三冠』を目指す

「高校二冠」に王手! 富士学苑が初優勝!



高校生の夏開幕! 金鶯旗高校柔道大会が7月21日よりスタートした(21日は開会式のみ)。今年は福岡県(福岡市のマリンメッセ福岡から福岡市総合体育館・照葉積水ハウスアリーナ)に会場を移し、22日から24日までの3日間、全国から集結した柔道部が、冷夏を吹き飛ばすような熱戦を繰り広げている。

第93回となる今回は男子316校(うち台湾1校、ハワイ1校招待)、女子165校(うち台湾1校、香港1校、ハワイ1校招待)が出場。

女子団体戦は、3月の全国高校選手権大会で優勝し、『高校三冠』を狙う富士学苑高校(山梨県)が決勝で敬愛高校(福岡県)を不戦1人残して破り、同大会初優勝を飾った。

昨年優勝の南筑は4回戦敗退 シード校は順当に2回目進出

女子団体の初日(22日)には、1回戦から4回戦までが実施された。昨年、大会連覇を達成した南筑高校(福岡県)は、今月行なわれたグランプリ・モントリオールで優勝した48kg級の古賀若菜を大将に据えて2回戦から登場。2、3回戦を不戦2人残して勝ち上がり、古賀の初試合となつたのは埼玉栄高校(埼玉県)との4回戦。埼玉栄・副将の比嘉萌との対戦で、古賀は体重差約5kgの相手から、内刈「技あり」を奪つて勝利するも、軽量級選手が無差別の試合を勝ち抜くのは厳しく、続く大将同士の戦いでは、約20kg差の佐藤星麗七に惜敗。トーナメントから姿を消した。

パート決勝(ベスト16)に進出した高校は以下の通り。

富士学苑高校、横須賀学院高校(神奈川県)、藤枝順心高校(静岡県)、比叡山高校(滋賀県)、須磨学



▲5回戦。富士学苑・先鋒の藤代が横須賀学院の笹原に横四方固で一本勝ち。藤代は2~4回戦で13人抜きの活躍を見せた

桐蔭学園は熊本西、埼玉栄は大成との接戦制し準決勝へ

【準々決勝】

富士学苑高校 vs 藤枝順心高校

桐蔭学園高校 vs 熊本西高校

埼玉栄高校 vs 大成高校

敬愛高校 vs 長崎明誠高校

回戦から行なわれた。ここで注目を集めたのが須磨学園夙川と桐蔭学園の対戦。須磨学園夙川は先鋒の新名彩乃が大内刈一本で先制し、1人リードを保つたまま桐蔭学園大将の朝飛を迎えるも、背水の陣となつた朝飛が須磨学園夙川を破り、桐蔭学園が準々決勝進出を決めた。



▲準々決勝。富士学苑・中堅の黒田が藤枝順心・次鋒の山本を内股で一本勝ち

富士学苑は藤枝順心戦の序盤、リードを許すも、この日好調の中堅黒田、重紀が奮闘。得意の内股で次鋒の山本杏、中堅の高山美憂を抜き、副将袴田佳名子と引き分けでリードすると、富士学苑・副将の平野友萌が藤枝順心・大将の米川明穂と引き分け、1人残して準決勝進出。

一方、重量級中心のチーム構成で3年ぶりの優勝を狙う地元敬愛は長崎明誠と対戦。先に2人差のリードを作り、長崎明誠・副将の川口鈴王に2人抜きを許し同点に。しかし敬愛・副将

また、優勝候補筆頭の富士学苑は先鋒の藤代心が横四方固で横須賀学院の笹原芽依を破つて先行すると、その後も着実に勝利を重ね、不戦2人残して快勝。

ベスト8には桐蔭学園のほか、富士学苑、藤枝順心、熊本西、埼玉栄、大成、敬愛、長崎明誠が進出。シード校が順当な勝ち上がりを見せた。

